

あとがき

コロナ禍が明けて丸1年が経過し、本学の教育研究体制も通常に戻ってきた中、本号には総説、原著、学会・研究会・懇話会報告を含むたくさんの投稿が寄せられました。

巻頭言での小池先生による「今や看護系は大学入学者が専門学校入学者を上回るようになり、看護系大学院がクローズアップされてくる時期に入った」という話題提供は、来年度より看護学科大学院修士課程が開講予定である本学にとってまさにタイムリーなものであり、看護学科がより厚みを増すかたちで医学会への関りを深めていってくれるものと期待します。

最終講義では、医総研の落谷先生が「エクソソーム研究」についてその歴史から今後の医療への貢献の可能性までを

わかりやすく解説いただき、深奥なる基礎研究の世界を見せていただきました。続く特別講演では、循環器内科の里見先生、法医学の内ヶ崎先生のご専門領域である「不整脈」、「臨床法医学」に焦点をあてた内容はメッセージ性に富んでおり、後進達の琴線に触れるものがあったのではと拝察いたします。

最後に、総会記事では「東京都健康長寿医療センター」との共同研究が新たに始まることが紹介されました。働き方改革を含め「研究医」の養成には多くの課題が顕になってくると思われますが、今後、双方向に研究者が行き来し、この研究連携が深まっていくことを願っております。

(伊藤 正裕 記)

当該雑誌に掲載された論文の著作権は本医学会に帰属する。
また本書の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き禁じられている。

令和6年4月30日 発行

東京医科大学雑誌 第82巻 第2号

発行者 林 由起子

発行所 東京医科大学医学会
(東京医科大学内)

〒160-8402

東京都新宿区新宿 6-1-1

TEL 03 (3351) 6141 (代)

FAX 03 (3351) 8181

e-mail address

igakukai@tokyo-med.ac.jp

データ製作 笹氣出版印刷株式会社

〒984-0011

仙台市若林区六丁の目西町 8-45

TEL 022 (288) 5555